

請願

今定例会では、4件の請願が提出され、継続審査中の3件を含めて議論を行いました。

継続審査中

- 「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める」請願書 ↓ **採択**
- 子どもの医療費助成制度の拡充に関する請願書 ↓ **採択**
- 津山市立東幼稚園園舎及び敷地の貸与に関する請願 ↓ **不採択**

今定例会提出

- 日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める請願 ↓ **採択**
- いわゆる「共謀罪」法案については、徹底審議と今国会での成立を強行しないことを求める意見書提出の請願 ↓ **不採択**
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について ↓ **採択**
- 家族介護はもう限界です。障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書提出に関する請願書 ↓ **採択**

市政のあり方を問う！

一般質問

一般質問の記事は、決められた文字数の中で議員本人が要約し、掲載しています。詳細は次の方法によりご覧ください。

◆インターネット

会議録はインターネットでもご覧いただけます。「津山市議会会議録」で検索してください。6月議会の会議録は9月議会初日に公開予定です。

◆会議録（冊子）

議会事務局、市立図書館（加茂・勝北・久米を含む）、県立図書館でご覧いただけます。6月議会の会議録（冊子）は9月に発行予定です。

定住自立圏に取り組む意義は

問 定住自立圏に取り組む意義と現在の状況は。

答 津山圏域の1市5町がさらに結束して圏域全体で人口減少を食い止める、地域の活性化に取り組むことは不可欠なものと考えている。今年3月に策定した津山圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、医療、福祉、子育て等11分野で36の連携事業に取り組んでいく。今後も連携事業の着実な実施を推進していくとともに、新たな連携事業の



緑風会
森西順次

定住自立圏

市長の決意は

問 来年、市長選が予定されているが市長の決意は。

答 7年前の出馬表明時の初心を忘れることなく、市政の改革推進の継続、公正・公平・安定の津山の創造に引き続き挑戦していきたい。



津山圏域1市5町のさらなる連携を！

大型事業の調整は誰がするのか



市政会
岡田康弘

答 第5次総合計画の主要事業は、

問 今年度になってJRとの2回の協議に市長は出席していない。以前の私の質問に「トップとして交渉する」と言っていたが、県にも行かない。大型事業の意思決定にも参加しない。トップセールスという言葉葉を理解しているのか。大型事業の企画、調整に対してトップリーダーの思いがない。市長に代わって総合企画部長が調整するのか。



JRなどへのトップセールスを期待

◆【その他の質問項目】幼児教育について



議会活動をチェック！ （議会活性化調査特別委員会）

議員定数見直し・議会報告会開催などに向けた協議を開始

今定例会中の6月21日、新たに選出されたメンバーで議会活性化調査特別委員会を開催しました。

本特別委員会では、津山市議会の議員定数見直しについて協議し、結論を出す予定です。

また、これまで8回開催してきた議会報告会については、今後も市民の皆さんとの活発な意見交換の場となるよう、さらなる提案を行っていきます。次回の議会報告会の開催内容は、決まり次第、広報紙や議会ホームページなどでお知らせします。



定数見直しの行方は？



議会報告会の活性化に期待！